オーディオ実験室収載

DSD 録音音源の試聴（1）

１．はじめに

最近、DSD Native や e-onkyo music から 11.2MHzDSD 音源が供給されるようになってきており、次の音源もその一つです。音源探索情報紹介【2015No.8】でも取り上げていますが、今回、本音源に焦点をあてて、その特性を掘り下げてみることにしました。

大木和音『三美神』J-Ph.ラモー／P.ロワイエ／J.デュフリ　クラヴサン作品集

http://www.e-onkyo.com/sp/album/ancd10001/

２．試聴の方法

上記音源は e-onkyo music の上記サイトから DSF 11.2MHz/1bit の音源が入手できます。本音源は 1 ビット研究会のデモにおいて使用されたものです。

http://www.jas-audio.or.jp/jas-cms/wp-content/uploads/2015/06/1bit-20150707_01.pdf

上記ダウンロードサイトによれば次のような由来の音源です。

「DSD11.2MHz/1bit マルチ録音によって、ホールの響きと楽器の音色、そして大木和音の息づかいまでが一つに切り取られた、完全無編集作品。フランス 18 世紀を駆け抜けた作曲家、ラモー、ロワイエ、デュフリ。彼ら三人のドラマティックな音楽を、チェンバリスト大木和音が、まるで一人の作曲家のように描写した、時代を超えて伝わる美の世界。これは単にフランスバロック時代の再現ではなく、四人のアーティスト、ラモー・ロワイエ・デュフリ、そして大木和音のコラボレーションなのです。」

本音源は演奏家のブログでも紹介されています。

http://ameblo.jp/alt-neu-artist/

本音源を DSD11.2MHz の Native で再生すると、チェンバロの透明感ある音が心地よく聴け、さらに余韻もこの上なく美しいものです。こういう音源であると DSD 録音の値打ちを知ることができます。そこで、次のようなチェンバロの演奏と比べてみました。

石川陽子　輝くチェンバロ　5.6MHzDSF　e-onkyo music 配信

中田聖子　愛の神殿　CD　Bergamio(BMC-0001)

三美神は、11.2MHzDSF の録音ですが、輝くチェンバロは、TASCAM DA-3000 による 5.6MHzDSF 録音で、愛の神殿は DSD 録音（フォーマット不明）からダウンコンバートして CD にしたもので、録音の由来でどのような音の違いがあるかに興味が湧きます。

比較の方法は、次の四つの方法で行いました。

①11.2MHzDSD 再生

三美神は 11.2MHzDSD の Native 再生ですが、条件を揃えるために、輝くチェンバロは、Hi-Res Editor でリアルタイムに 5.6MHzDSF→11.2MHzDSD にアップサンプリングして再生し、愛の神殿は CD をリッピングして 44.1KHz,16bitWAV とし、これを Hi-Res Editor でリアルタイムに 44.1KHz16bitWAV→11.2MHzDSD に変換して試聴しました。

②5.6MHzDSD 再生

三美神は Hi-Res Editor でリアルタイムに 11.2MHzDSD→5.6MHzDSD にダウンサンプリングして再生し、輝くチェンバロは、Hi-Res Editor で 5.6MHzDSD の Native 再生とし、愛の神殿は CD をリッピングして 44.1KHz,16bitWAV とし、これを Hi-Res Editor でリアルタイムに 44.1KHz16bitWAV→5.6MHzDSD に変換して試聴しました。

③44.1KHzPCM 再生

三美神は Hi-Res Editor でリアルタイムに 11.2MHzDSD→44.1KHz,16bitPCM 再生し、輝くチェンバロは、Hi-Res Editor でリアルタイムに 5.6MHzDSD→44.1KHz, 16bitPCM 再生し、愛の神殿は CD をリッピングして 44.1KHz,16bitWAV として再生しました。

④DSD Native と CD のリアルタイム変換 DSD 再生

再生ソフトを HQPlayer に替えて、三美神は 11.2MHzDSD の Native 再生、輝くチェンバロは 5.6MHzDSD の Native 再生、愛の神殿は CD を Plextor Premium 2U から再生して 11.2MHzDSD と 5.6MHzDSD へのリアルタイム変換で聴いてみました。

３．試聴結果

①11.2MHzDSD 再生では、輝くチェンバロも愛の神殿も元は DSD 録音ですが、三美神が音の肌理の細やかさや余韻の豊かさで一歩勝り、完全無編集 11.2MHzDSD 録音のメリットが感じられます。輝くチェンバロと愛の神殿はアップサンプリングしても三美神の域には到達しません。直近のチェンバロの生演奏は、6 月 16 日と 7 月 11 日に聴いていますが、三美神の 11.2MHzDSDNative 再生がもっとも生演奏の繊細な音色の印象に近いと感じます。

②5.6MHzDSD 再生では、三美神は元の 11.2MHzDSD の良さを残しています。輝くチェンバロは無理にアップアンプリングするより、5.6MHzDSD の Native 再生の方が自然に聴こえました。しかし、輝くチェンバロも愛の神殿も三美神には及びません。

③44.1KHzPCM 再生では、幾分元の音の雰囲気を残してはいますが、皆同じような CD の音になってしまします。

④HQPlayer による Native 再生と CD のリアルタイム変換 DSD 再生では、やはり三美神の 11.2MHzDSD の Native 再生でチェンバロの繊細感が一番良く出ているようです。輝くチェンバロの 5.6MHzDSD の Native 再生は少し音が太目になります。輝くチェンバロの CD からの 11.2MHzDSD と 5.6MHzDSD へのリアルタイム変換もなかなか健闘しており、11.2MHzDSD への変換では、輝くチェンバロの 5.6MHzDSD の Native 再生に引けをとりません。

４．まとめ

条件を揃えて再生しても元の録音の印象を逆転するようなことは起こりませんでした。また、三美神は、11.2MHzDSF の録音の良さを感じました。

以上